

3/4 富良野の自然に親しむ集い「アニマルトラッキング」 博物館講座

投稿者：：

Posted on : 2023-3-11 0:00:00

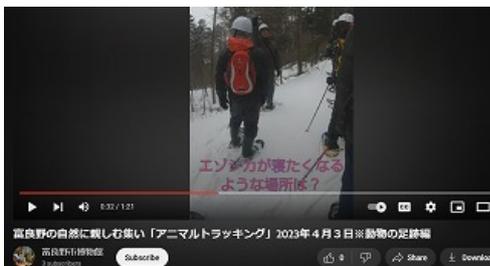
今回の「富良野の自然に親しむ集い」は堅雪の上を歩く自然観察会。東大樹木園で動物の足跡などの痕跡や、木々の冬芽、クマゲラやその採餌木などを観察しました。

末尾に3月18日開催の「富良野の自然に親しむ会」の会員の力を結集したイベントのお知らせがありますので、ぜひご覧下さい。

【動物の足跡や寝ころんだ跡】



イタチ類の足跡



映像「動物の足跡」

永盛会長は跳ねる様子を実演。こんな感じで高校の生徒たちも指導していたんですね。



ネズミの足跡



キツネの足跡



ぬた場（寝ころんだ跡）

この近くでは手負いのシカが歩き回った痕跡も見られました。近年鉛に代わって銅製の弾が用いられるようになっていますが、銅の弾は貫通性が高く即死しにくい特徴があります。狩猟は痛ましい側面もありますが、天敵不在のため過剰に増加しているエゾシカの個体数を減らすことは、生態系のバランスを保つためにさけることができない、という解説もありました。

【クマゲラ】



] 採餌木



内部が腐って虫に食べられている木がわかるクマゲラには林業の専門家も脱帽です。



映像「樹木・野鳥」



クマガエラの2通りの鳴き声を聞くことができました（多くの方は姿も観察できました）。
【冬越しする植物とそれを食べる動物】



ササの食痕を見て、夏場もこれだけ食べてくれたら仕事が楽なのに...と演習林職員



ニガキ（樹木）は苦い！この木は中径木のニガキにしてはかなり大きく育っています。



映像「冬芽（ホオノキ）」



トドマツの樹皮にはやに壺があり、香りの良い松ヤニが出てきます。



ストロームツの実



外側をきれいに食べられてまるで海老フライのよう。



映像「食痕」

寒気の緩み始めた季節でも、程よく寒さで雪が引き締まった日で、スノーシューで堅雪の上を自在に動きながら自然観察を楽しむことができました。

ふらのの自然を見つめて

富良野の自然に親しむ集い
30年の歩み

3月18日(土) は市役所へGO

第1部;9:00~10:00《基調報告》 30年の振り返り 永盛俊行・井口和信から

150・20・3000 人の参加者たちの
センス・オブ・ワンダー

今まで開いた
観察会の数

平均的な
参加者数

今までの
観覧者数

センス・オブ・ワンダー



いろいろな発見が
あったね



第2部;10:00~11:00 《自然生きものカフェ》
見て・さわって・作って・遊んで感じる富良野の自然
チョウ、クワガタ、動物の骨、コウモリ、アンモナイト…の標本たち・

プランナリア・ザザムシ・カブトムシ・羽化したアゲハ…の本物たち

アンモナイトのレプリカづくり・木の葉の工作コーナー

「おしおしカード」のかるた大会

参加者には昆虫標本、ポストカードなどのオリジナルグッズプレゼント



第3部;11:00~12:00 《みんなでトーク》

ヘイケボタル・風穴・流れ星・カワシンジュガイ…
いろいろなテーマでトークセッション

各部出入りは自由です

会場: 富良野市役所1階会議室A/B

主催: 問い合わせ先: 富良野市博物館 ☎0167-42-2407



《2022年度前田一步園賞受賞記念事業》

3/18(土)には富良野市役所1階で「ふらのの自然を見つめて」富良野の自然に親しむ集い30年の歩み」を開催します。大人の方も子どもたちにも届けたいイベントです。ぜひご来場下さい。